



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月12日

上場会社名 株式会社サカイ引越センター 上場取引所 東
コード番号 9039 URL <https://www.hikkoshi-sakai.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 哲康
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山野 幹夫 TEL 072-244-1174
定時株主総会開催予定日 2026年6月20日 配当支払開始予定日 2026年6月22日
有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	124,741	3.1	12,572	△2.7	13,229	0.7	8,652	△1.3
2025年3月期	121,023	3.6	12,925	1.4	13,143	1.9	8,765	4.9

(注) 包括利益 2026年3月期 8,988百万円 (1.7%) 2025年3月期 8,841百万円 (2.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	213.56	213.43	8.9	10.3	10.1
2025年3月期	215.58	—	9.5	10.6	10.7

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 △73百万円 2025年3月期 △90百万円

(注) 2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	129,191	99,349	76.8	2,464.68
2025年3月期	127,234	96,000	75.4	2,359.74

(参考) 自己資本 2026年3月期 99,227百万円 2025年3月期 95,946百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	9,298	△3,051	△6,747	25,705
2025年3月期	9,727	△7,904	△3,621	26,205

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	15.00	—	82.00	97.00	3,943	45.0	4.3
2026年3月期	—	30.00	—	68.00	98.00	3,954	45.9	4.1
2027年3月期(予想)	—	30.00	—	87.00	117.00		54.8	

(注) 2025年3月期 期末配当金の内訳 記念配当10円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）
（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	63,479	4.5	6,722	2.9	6,895	3.3	4,442	3.3	109.64
通期	130,013	4.2	13,048	3.8	13,368	1.0	8,743	1.0	215.80

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 （社名） ー、除外 ー社 （社名） ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	42,324,000株	2025年3月期	42,324,000株
2026年3月期	2,064,272株	2025年3月期	1,664,272株
2026年3月期	40,515,083株	2025年3月期	40,659,728株

（参考）個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期	106,314	2.2	10,984	△3.6	11,710	△0.1	7,674	△2.6
2025年3月期	104,006	2.6	11,395	1.9	11,719	2.7	7,877	5.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	189.41	189.30
2025年3月期	193.74	—

（注）2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期	121,966	92,398	75.7	2,292.04
2025年3月期	121,015	90,034	74.4	2,213.01

（参考）自己資本 2026年3月期 92,276百万円 2025年3月期 89,980百万円

2. 2027年3月期の個別業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	52,825	2.1	6,033	2.3	3,915	2.3	96.64
通期	108,972	2.5	11,653	△0.5	7,636	△0.5	188.49

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です
※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報の注記)	14
(重要な後発事象の注記)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、中東地域をめぐる情勢の影響によるエネルギー価格の高騰や継続する物価の上昇など先行きに不透明感を残す状況が続いております。

引越業界においても、新設住宅着工戸数や移動者数が微減しており、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは従業員の定着率向上および採用力の強化に注力し、継続的な待遇改善や環境整備に取り組んでまいりました。しかしながら、これらの施策に伴う費用の増加に加え、個人株主の増加に伴い株主優待にかかる費用が増加したことから、営業利益は前年同期を下回る結果となりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は124,741百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益12,572百万円（前年同期比2.7%減）、経常利益13,229百万円（前年同期比0.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益8,652百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループの中核である引越事業は、作業件数は825,134件（前年同期比0.8%増）となり、引越単価も前年同期比1.1%増と売上高は好調に推移しました。引越事業の売上高が好調に推移した影響で、各子会社で行っている引越付随事業も売上高を伸ばしております。

報告セグメント	売上高（百万円）	前期比（%）	セグメント利益（百万円）	前期比（%）
引越事業	105,358	101.9	11,441	99.7
電気工事事業	4,980	107.3	636	96.7
クリーンサービス事業	5,766	105.4	440	94.5
リユース事業	7,803	114.2	232	250.1
その他	832	120.3	589	102.4
調整額	—	—	△112	—
合 計	124,741	103.1	13,229	100.7

（注）1. その他の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△112百万円はセグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益の合計は、連結損益計算書の経常利益と調整しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は44,461百万円となり、前連結会計年度末と比較し202百万円減少いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産の302百万円増加があったものの、現金及び預金が486百万円減少したことによるものであります。固定資産は84,730百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,159百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が932百万円増加、土地が906百万円増加、無形固定資産その他に含まれるソフトウェアが400百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は129,191百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,956百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は26,599百万円となり、前連結会計年度末と比較し622百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が491百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,242百万円となり、前連結会計年度末と比較し769百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が340百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は29,842百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,392百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、99,349百万円となり、前連結会計年度末と比較し3,349百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が4,101百万円増加したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ500百万円減少し25,705百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動による資金は、9,298百万円の増加（前年同期の資金は9,727百万円の増加）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益13,208百万円に対し、法人税等の支払額4,912百万円などの資金減少要因がありましたが、減価償却費1,892百万円などの資金増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動による資金は、3,051百万円の減少（前年同期の資金は7,904百万円の減少）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出2,355百万円などがあったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動による資金は、6,747百万円の減少（前年同期の資金は3,621百万円の減少）となりました。これは主として、配当金の支払額4,551百万円、自己株式の取得による支出1,156百万円などがあったことによるものであります。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に景気は緩やかな回復基調で推移することが期待されますが、中東情勢の影響等に伴う原材料価格やエネルギー価格の高騰等、依然として先行きは不透明な状況が続くことが想定されます。

このような状況のもと、当社グループは新生活応援グループとして、「暮らしの中にもっとSAKAIを！」をキャッチフレーズに引越を基軸とした顧客接点の維持を図り、収益基盤を強化することで事業の拡大を目指してまいります。

次期の業績は売上高130,013百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益13,048百万円（前年同期比3.8%増）、経常利益13,368百万円（前年同期比1.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益8,743百万円（前年同期比1.0%増）となる見通しであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,014	29,527
受取手形、売掛金及び契約資産	11,050	11,352
商品	1,236	1,406
貯蔵品	904	969
その他	1,475	1,231
貸倒引当金	△17	△27
流動資産合計	44,663	44,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,358	11,778
機械装置及び運搬具（純額）	1,118	1,177
土地	58,877	59,783
リース資産（純額）	701	364
建設仮勘定	251	216
その他（純額）	242	238
有形固定資産合計	72,550	73,558
無形固定資産		
のれん	51	22
その他	689	1,089
無形固定資産合計	740	1,111
投資その他の資産		
投資有価証券	6,215	7,147
長期貸付金	570	670
繰延税金資産	1,409	1,141
その他	1,096	1,113
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	9,279	10,060
固定資産合計	82,571	84,730
資産合計	127,234	129,191

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,569	7,632
短期借入金	1,500	1,700
1年内返済予定の長期借入金	577	469
リース債務	340	205
未払費用	5,892	5,884
未払法人税等	2,931	2,439
前受金	3,834	4,078
賞与引当金	918	929
その他	3,657	3,261
流動負債合計	27,222	26,599
固定負債		
長期借入金	1,412	1,071
リース債務	370	164
繰延税金負債	45	52
再評価に係る繰延税金負債	532	532
退職給付に係る負債	47	53
資産除去債務	119	119
その他	1,484	1,248
固定負債合計	4,012	3,242
負債合計	31,234	29,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,731	4,731
資本剰余金	4,949	4,949
利益剰余金	90,046	94,147
自己株式	△3,814	△4,970
株主資本合計	95,913	98,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	458	794
土地再評価差額金	△424	△424
その他の包括利益累計額合計	33	369
新株予約権	53	121
純資産合計	96,000	99,349
負債純資産合計	127,234	129,191

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	121,023	124,741
売上原価	74,537	77,660
売上総利益	46,486	47,080
販売費及び一般管理費	33,561	34,508
営業利益	12,925	12,572
営業外収益		
受取利息及び配当金	68	145
有価証券売却益	—	300
受取保険金	30	30
受取手数料	39	37
不動産賃貸料	40	42
その他	160	213
営業外収益合計	339	769
営業外費用		
支払利息	27	32
持分法による投資損失	90	73
その他	3	7
営業外費用合計	120	112
経常利益	13,143	13,229
特別利益		
固定資産売却益	40	27
特別利益合計	40	27
特別損失		
固定資産処分損	2	6
投資有価証券売却損	—	37
減損損失	—	4
特別損失合計	2	48
税金等調整前当期純利益	13,181	13,208
法人税、住民税及び事業税	4,257	4,446
法人税等調整額	158	108
法人税等合計	4,415	4,555
当期純利益	8,765	8,652
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	8,765	8,652

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	8,765	8,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	339
土地再評価差額金	△15	—
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△2
その他の包括利益合計	75	336
包括利益	8,841	8,988
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	8,841	8,988
非支配株主に係る包括利益	—	—

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,731	4,949	83,487	△3,814	89,354
当期変動額					
連結範囲の変動			△52		△52
剰余金の配当			△2,154		△2,154
親会社株主に帰属する 当期純利益			8,765		8,765
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	6,558	－	6,558
当期末残高	4,731	4,949	90,046	△3,814	95,913

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	土地再評価 差額金	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	366	△409	△42	－	89,312
当期変動額					
連結範囲の変動					△52
剰余金の配当					△2,154
親会社株主に帰属する 当期純利益					8,765
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	91	△15	75	53	129
当期変動額合計	91	△15	75	53	6,688
当期末残高	458	△424	33	53	96,000

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,731	4,949	90,046	△3,814	95,913
当期変動額					
剰余金の配当			△4,551		△4,551
親会社株主に帰属する 当期純利益			8,652		8,652
自己株式の取得				△1,156	△1,156
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	4,101	△1,156	2,944
当期末残高	4,731	4,949	94,147	△4,970	98,857

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	土地再評価 差額金	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	458	△424	33	53	96,000
当期変動額					
剰余金の配当					△4,551
親会社株主に帰属する 当期純利益					8,652
自己株式の取得					△1,156
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	336	—	336	68	404
当期変動額合計	336	—	336	68	3,349
当期末残高	794	△424	369	121	99,349

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	13,181	13,208
減価償却費	1,816	1,892
減損損失	—	4
のれん償却額	34	34
持分法による投資損益（△は益）	90	73
株式報酬費用	53	68
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	9
賞与引当金の増減額（△は減少）	66	10
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	6	5
受取利息及び受取配当金	△68	△145
支払利息	27	32
有形固定資産処分損益（△は益）	△38	△20
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△263
売上債権の増減額（△は増加）	△759	△44
棚卸資産の増減額（△は増加）	△379	△240
仕入債務の増減額（△は減少）	299	119
その他	△548	△662
小計	13,783	14,083
利息及び配当金の受取額	79	160
利息の支払額	△27	△32
法人税等の支払額	△4,107	△4,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,727	9,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,367	△1,381
定期預金の払戻による収入	1,366	1,367
有形固定資産の取得による支出	△3,171	△2,355
有形固定資産の売却による収入	51	43
無形固定資産の取得による支出	△482	△613
投資有価証券の償還による収入	—	1,204
投資有価証券の取得による支出	△1,459	△1,744
投資有価証券の売却による収入	—	551
投資有価証券の払戻による収入	20	—
金銭の信託の取得による支出	△500	—
金銭の信託の解約による収入	—	300
貸付けによる支出	△33	△215
貸付金の回収による収入	85	96
関係会社株式の取得による支出	△352	△303
その他	△59	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,904	△3,051
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,300	2,900
短期借入金の返済による支出	△2,528	△2,700
長期借入れによる収入	752	146
長期借入金の返済による支出	△1,179	△595
リース債務の返済による支出	△408	△340
自己株式の取得による支出	—	△1,156
設備関係割賦債務の返済による支出	△402	△450
配当金の支払額	△2,154	△4,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,621	△6,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,798	△500
現金及び現金同等物の期首残高	27,732	26,205
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	272	—
現金及び現金同等物の期末残高	26,205	25,705

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは引越運送業務を当社で、またそれに付随する業務を各連結子会社で行っております。従って、セグメントは当社グループの事業を基礎として構成されており、「引越事業」、「電気工事事業」、「クリーンサービス事業」及び「リユース事業」の４つを報告セグメントとしております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

事業セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費等は、一定の基準により各事業セグメントに配分しております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3、6	連結財務 諸表計上額 (注) 4
	引越事業	電気工事 事業	クリーンサ ービス事業	リユース 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	103,385	4,641	5,470	6,833	120,331	692	121,023	－	121,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	113	3,689	137	47	3,988	134	4,123	△4,123	－
計	103,499	8,331	5,608	6,881	124,320	826	125,146	△4,123	121,023
セグメント利益	11,473	658	466	92	12,691	575	13,267	△123	13,143
セグメント資産	70,864	4,638	6,225	5,089	86,817	10,089	96,907	30,327	127,234
その他の項目									
減価償却費（注）5	1,637	20	30	43	1,731	84	1,816	－	1,816
受取利息	27	2	1	0	31	0	31	－	31
支払利息	24	－	0	0	26	1	27	－	27
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	3,036	40	7	79	3,164	655	3,819	324	4,144

（注）１．その他の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

２．セグメント利益の調整額△123百万円はセグメント間取引消去等であります。

３．セグメント資産の調整額には、各事業セグメントに配分していない全社資産、セグメント間の債権債務消去が含まれております。

４．セグメント利益の合計は、連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

５．減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。

６．有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額324百万円は、主として全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の取得額であります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3、6	連結財務 諸表計上額 (注) 4
	引越事業	電気工事 事業	クリーンサ ービス事業	リユース 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	105,358	4,980	5,766	7,803	123,908	832	124,741	－	124,741
セグメント間の内部 売上高又は振替高	168	4,073	136	55	4,433	134	4,567	△4,567	－
計	105,527	9,053	5,902	7,858	128,342	966	129,309	△4,567	124,741
セグメント利益	11,441	636	440	232	12,751	589	13,341	△112	13,229
セグメント資産	71,286	3,615	5,210	5,064	85,176	10,086	95,263	33,928	129,191
その他の項目									
減価償却費（注）5	1,719	27	17	44	1,808	84	1,892	－	1,892
受取利息	53	6	1	1	62	0	62	－	62
支払利息	27	－	1	1	30	1	32	－	32
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	2,828	95	43	28	2,995	166	3,161	369	3,531

（注）1．その他の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2．セグメント利益の調整額△112百万円はセグメント間取引消去等であります。

3．セグメント資産の調整額には、各事業セグメントに配分していない全社資産、セグメント間の債権債務消去が含まれております。

4．セグメント利益の合計は、連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

5．減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。

6．有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額369百万円は、主として全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の取得額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

	引越事業	電気工事 事業	クリーンサ ービス事業	リユース 事業	その他	合計
外部顧客へ の売上高	103,385	4,641	5,470	6,833	692	121,023

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所有している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める外部顧客が存在しないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

	引越事業	電気工事 事業	クリーンサ ービス事業	リユース 事業	その他	合計
外部顧客へ の売上高	105,358	4,980	5,766	7,803	832	124,741

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所有している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める外部顧客が存在しないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	引越事業	電気工事 事業	クリーンサ ービス事業	リユース 事業	計				
減損損失	－	－	－	4	4	－	4	－	4

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	引越事業	電気工事 事業	クリーンサ ービス事業	リユース 事業	計				
当期償却額	－	－	34	－	34	－	34	－	34
当期末残高	－	－	51	－	51	－	51	－	51

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	引越事業	電気工事 事業	クリーンサ ービス事業	リユース 事業	計				
当期償却額	－	－	34	－	34	－	34	－	34
当期末残高	－	－	22	－	22	－	22	－	22

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報の注記）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,359.74円	2,464.68円
1株当たり当期純利益	215.58円	213.56円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	213.43円

（注）1．2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2．1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	8,765	8,652
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	8,765	8,652
期中平均株式数（株）	40,659,728	40,515,083
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数（株）	—	24,208
（うち新株予約権（株））	—	(24,208)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式の概要	2024年6月15日開催の取締役会 決議による第3回新株予約権 新株予約権の数 4,750個 (普通株式 475,000株)	—

3．1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額（百万円）	96,000	99,349
純資産の部の合計額から控除する金額（百万円）	53	121
（うち新株予約権（百万円））	(53)	(121)
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	95,946	99,227
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普 通株式の数（株）	40,659,728	40,259,728

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。